

審議会委員コメント

R1. 11. 12
第8回総合計画審議会
資料6

「あたらしく、知多らしく。」とは、知多市がどのようなまちになっていくことだと思いますか。

暮らしの基盤である地域を良くするために自分自身が何らかの形で関わっていきたくなるコミュニケーション豊かな知多市。

市野 恵

小さな声を大切にすまち、その声に耳を澄ます“面倒くささ”を少しずつ引き受けあっていけるまちになることを願っています。

久野 美奈子

人の多様性を認めつつ、誰もが自己の価値観を大事にし、自分に合った生き方を選択できる「自分らしさを大切にできる魅力あるまち」

近藤 通哉

これまでの知多市とこれからの知多市が時代にあわせて変化・成長し、その過程で「知多らしく」が醸成されていくと思います。

竹内 栄道

今までの文化・歴史・自然を大切にし、住人1人1人がまちづくりに参画でき、孤立することなく隣人・地域との連携ができるまち。

竹内 徳得

知多市に暮らす全ての人(特に子どもたち)が、激動する社会の中で、これまでにない新しい市民活動に参画することができるまち。

野尻 紀恵

まちは自分たちで創っていく時代。朝倉駅周辺整備を機に、賑わい生む便利な公共交通を市民みんなで育てている。それが知多らしさ！

松本 幸正

一人ひとりにとっての、ほんとうの豊かさを、まっすぐに、多様な人との関わりの中に育むことができるまち。

水内 智英

「私らしく」暮らしていける、あるいは、関わっていける、そんな場所(プレイス)や機会が、地域に広がっているといいなあ。

吉村 輝彦

これからの知多市のまちづくりにどのように関わっていきたいと思いますか。

今後も、知多市に愛着を持っている一般市民という立場で自身が携わっている市民活動を通して、知多市の魅力を発信していきたいです。

生田 祐江

審議会委員の皆さんのまちづくりに対する熱い思い、素晴らしかったです。市民こそ、市の財産。今後も皆さんの活動を応援します。

入江 容子

「自分にできることを見つけ、日々を楽しく暮らす」児童福祉と地域に開かれた場で私ができることを精一杯頑張っていきたいです。

片山 麻有

「支え合い」は暮らしぶりから作られません。共に生きる愛着あるまちを創るために、市民の営みを紡ぐ学びの場を大切にします。

河村 康英

「食を通じた健康」が市民の幸せの基礎と考えています。今後も「農と食」の立場から市民の健康を支えていきたいと思っています。

榊原 秀敏

耕作放棄地と竹藪が目立つ知多市を、いま市民やヤギと協働して美しい里山に戻しており、緑園都市の名にふさわしい街にしたい。

高山 博好

知多市は緑が多い、この緑園都市を建設的に考える人達と共に行動し、緑美しいまちづくりに関わっていきたいと思います。

竹内 誠

自分の住んでいる地域をどのように良くしていくかを第一に、広くいろいろな意見を取り入れて、皆で協力してやっていきたい。

寺島 康夫

文化芸術にたっぷり触れて心を揺らし、子どもも大人も仲間と共に育ち合う活動を続けます。地域の子どものあそびも楽しみます！

富田 敬子

働くために必要なルールを就学期から学び、職場の困り事を解決でき、市民が安心して健全な社会生活を送れるよう関わっていききたい。

長倉 剛士

コミュニティ役員としての経験を生かしつつ、新たな視点にも挑戦し地域のまちづくりに参加していきたいです。

西尾 和男

子どもの夢を応援したい。未来を守りたい。笑顔を生む情報発信、生活を豊かにする先進技術、これからも知多市の発展に貢献します。

峯神 亜由美

未来への視点を持ってつながり、やさしさと強さ、おもしろさのある、ゆるゆるした歩みで、ひとづくり、まちづくりに参加したい。

吉川 佳代